

厚生労働科学研究の成果目標等と 分野別推進戦略について

厚生労働科学研究では、
4つの分野別推進戦略に
対して研究開発目標、成
果目標を登録



「研究事業に関する評価(予
算概算要求前の評価)」で
は、それぞれの研究開発目
標等に対する進捗を確認



国民への
説明責任

情報分野
推進戦略

ナノテク・材料分野
推進戦略

ライフサイエンス分野
推進戦略

厚生労働科学研究
の成果目標等

環境分野
推進戦略

厚生労働省の主要な成果目標等について

分野別推進戦略における重要な研究開発課題の例

研究開発目標の例

成果目標の例

健康安心の推進

がん、アレルギー・免疫疾患、生活習慣病、骨関節疾患等の予防・診断・治療

精神・神経疾患・感覚器障害を含む難病の原因解明と治療の確立

膵がんなどの難治がんの治療を含む、革新的ながんの予防・診断・治療技術を開発すると共に、標準的治療法の確立、がん患者の生活の質の改善を目指す。

地域における自殺率を減少させる介入方法及び自殺未遂者の再発率を減少させる介入方法を開発する。

がんの罹患率・死亡率の減少

うつ病対策等による自殺率の低減

健康安全の確保

食品の安全確保と消費者の信頼確保に関する技術開発

感染症の予防・診断・治療

難病患者・障害者等の自立支援等生活の質を向上させる研究

医薬品・医療機器等のリスク評価等の研究

と畜場におけるBSE検査用高感度・迅速検査法、食品中に存在する食中毒菌等の迅速一斉検査法等を実用化する。

新型インフルエンザなどの新興・再興感染症について、診断方法の確立や治療法の開発、国民に対する適切な医療の確保を行う。

多様な難病の病態に関して情報収集し、適切な治療法が選択できるような知的基盤を確立する。

ファーマコゲノミクスに基づく評価手法を確立する。

食品による健康被害事例の低減

エイズ・肝炎・新興再興感染症から国民を守るための研究の推進

難病に関する知的基盤を基に治療方法を適切に評価

個人の遺伝情報に応じた医療に有用な医薬品の承認

先端医療の実現

臨床研究の体制整備

ゲノム、RNA、タンパク質、糖鎖等の構造機能とそれらのネットワークの解明にもとづく生命現象の統合的な理解

拠点となる医療機関の臨床研究実施体制を整え、人材育成を行うことにより、治験を含む臨床研究基盤を整備する。

日本人における主要疾患（高血圧・糖尿病・がん・認知症等）関連タンパク質を解析・同定し、その結果を活用して、医薬品の研究開発に資する疾患関連タンパク質データベースを構築する。

国民ニーズに合った安全かつ効果的な革新的医療の臨床現場への速やかな提供